

中支戰線

(上海十七日) 我が軍上
部隊は敵の強襲を抵抗互
巷 楊家宅を占領し、更に敵の
有力據点たる某地を攻囲すべく進
軍中、百井部隊と亦十七日朝王家
宅、周家宅を敵を駆逐し之を奪取
し前面顧家宅の敵に対しちりく
肉迫してゐる。雨霧の空は冷氣
互含み、皇軍將士は敵陣地互睨ん

今晩多大の損害を蒙り敗退せしめられた
支那軍の輸送船々不良とあり、
だのに士氣甚へ秩序紊乱その昂た
達し、輸送各所に掠奪開始され、
後方に逐波及しきある。
今朝、閩北の敵陣地に宣弾炸烈し
猛烈ぶ同志打ちが行は以れ、
敵軍を攻撃した結果は猛烈、孫
家宏、ゲイ家宏左相次いで倒し更に
躍進、約三千の敵に猛射左浴びせ

(上海十六日) 榇警團長黃布は慶
東方面にある麾下の東北團五七三團
青島來取り互て、るるび、並
軍各方面的緊張ある行動に士氣
全く沮喪し、青島近郊にて奮戦せる
于学田に麾下の軍隊と後退左開
始した。

北支戰線

(天津十七日) 石黒坂田
両部隊は涿州を占據した。
涿州は有名な堅苦万古城
場であるが、我が皇軍の
前には数時間にして早くと

としろる。〔空〕
〔北平十七日〕平漢線東方地区的
小山部隊は今朝馬頭鎮を占領し、
巨馬河を渡河せる。第一線部隊は今
朝松林店附近の平漢線を三家店に

我軍の平漢線遮断により
十万の大敵我が軍の鼠
壯烈亦歎哉 戰展開一

六月未明未我が攻撃に堪へかぬて
盛に清走するが故に我軍尙金鎧可は
十七日午後零時御分遣の如く奉

我が歴史上
空前の戦果

(北平十七日)

我が空軍

日午前九時。

重要故車也。馬高五寸取

重要故車也。馬高五寸取

我軍河北省深源互占行

我軍河北省深源互占行

18 de Noviembre de 1937 El "Argentin Dijo" Nro 817. Nro 731 (4)

上海戰線

敗退最早敵人難く

立万の敵軍對撞の色深し

雜色軍は戰意喪失

(上海十六日) 我が空軍は十時頃
江湾の殘敵を圧迫中、之に呼應し陸戦隊は
支那軍の敗退最早敵に難く一般民衆は勿論、上海附近に集結した
雜色軍を交へる二十万の大軍など
多大の動搖を興へ、資產階級で身

衆の我軍は昨夜南側高地を
奪取し、各庄附近の敵陣地を奪取せり
正午更に我軍は石樓村に向ひて約
一里進出、同方面の敵は次第に退却しりあり、
我が空軍は午前七時頃保定

の大爆撃を敢行、且下停車場其他各所に火災起り全支

敵軍大部隊

涿州平野を大學退却

(天津十六日) 涿州平野に於ける敵の有力な大部隊は、
朝家口へ青島南方十九キロ。

天津十六日馬河左岸より渡河、敵

軍今後馬河左岸より渡河、敵

撤去、西進中、又六時頃。

部隊は牛頭鎮に侵入、更に敵を

追撃中、中央方面隊は拒馬河の線に於

て頑強に抵抗せる敵を擊滅し、森

田部隊は田各庄

占領、其マ引づぐ攻撃前進中、

天津方面では東天鎮を攻

我軍石樓村に向ひて進出

涿州平野を大學退却

(天津十六日) 我の装甲列車は敵の猛撃を排し今

晚疏瑞河線に達した。

我が空軍は午前七時頃保定

の大爆撃を敢行、且下停車

する敵を猛烈中であ

る。

(北平十六日) 捕馬

西渡河に成功した我

軍は正面の敵四軍

第十師(師長李默庵)

と對峙中である

(北平十六日) 前八時司

令部長によれば平漢線方

面の我軍は昨夜南側高地を

奪取し、各庄附近の敵陣地を奪取せり

正午更に我軍は石樓村に向ひて約

一里進出、同方面の敵は次第に退

却しりあり、

我が空軍は午前七時頃保定

の大爆撃を敢行、且下停車

場其他各所に火災起り全支

大動搖を示してゐる。

(天津十六日) 我の装甲列車は敵の猛撃を排し今

晚疏瑞河線に達した。

我が空軍は午前七時頃保定

の大爆撃を敢行、且下停車

場其他各所に火災起り全支

大動搖を示してゐる。

(天津十六日) 我の装甲列車は敵の猛撃を排し今

晚疏瑞河線に達した。

我が空軍は午前七時頃保定

の大爆撃を敢行、且下停車

場其他各所に火災起り全支

津戰線

南姚扶鎮を占領

(天津十六日) 十九日佔領

以末敵左攻撃中ぶりし津

津線第一輪部隊野田、中井

正副ハ敵軍死傷者

支空襲

東北兩路より

敵機十二機空降散子

帰國御礼

講習・各級益々御開辟の段翠

慶賀外・陳君是弟武司儀一時

帰國攻守事と相成り去る十六

日午後三時当地出帆のフエノ

ス・アバレス丸にて無事帰國の

途に就て申ト間・河卒下也事

御休神院下度候

在中は極々御交説左辱少

て同地左混亂に陥入れ、更に北

より襲撃せらる台の〇〇機は詫

闘・永便左經で龍門・增城など

要地左接い、多設の爆弾を投下

て多大の損害を蒙へて引揚げた

支那側と十二台の戰闘機左接

て我が空襲に備へたが、我が空軍

は雖あく之を撃滅りし・社務左

完了して無事帰還しる、この日

廣東は完全に燈火管制が行はれ

てゐた標榜である。

沈は石御通加旁マ御乳申上度

如斯の御座候、御見送り

乱申上候

是は石御通加旁マ御乳申上度

如斯の御座候、御見送り

乱申上候

是は石御通加旁マ御乳申上度

如斯の御座候、御見送り

乱申上候

是は石御通加旁マ御乳申上度

如斯の御座候、御見送り

乱申上候

昭和十三年九月十八日

澎湖島十五日・午後四時馬公署
講習・各級益々御開辟の段翠

慶賀外・陳君是弟武司儀一時

帰國攻守事と相成り去る十六

日午後三時当地出帆のフエノ

ス・アバレス丸にて無事帰國の

途に就て申ト間・河卒下也事

御休神院下度候

在中は極々御交説左辱少

て同地左混亂に陥入れ、更に北

より襲撃せらる台の〇〇機は詫

闘・永便左經で龍門・增城など

要地左接い、多設の爆弾を投下

て多大の損害を蒙へて引揚げた

支那側と十二台の戰闘機左接

て我が空襲に備へたが、我が空軍

は雖あく之を撃滅りし・社務左

完了して無事帰還しる、この日
廣東は完全に燈火管制が行はれ
てゐた標榜である。

昭和二十年九月八日

亞爾然時丁報

(5)

支那汽船影没の断行状況

その効果百パーセント！

今や全く支那汽船影没す

南支各地、物資の不足甚し

(東京十六日) 南支方面に於ける海面航行遮断の状況は左の如くである。

一、航行遮断以來

南支一帯の海面に於て航行を遮断したジャンク船の数は相当数に達してゐるがこれ等の乗組員は全部これを放還してゐる。そのうちには機銃小銃を以て我に抵抗したものとあり或は夜間に乘じてジャンク船の奪取を企てるなどある。是等は南支方面の海上に出没してゐた所謂海賊の數と見られてゐる。

二、航行遮断状況は頗る良好

(新潟十五日) 上京した岸満洲國産業部次長は十五日帰任したが左の如く語った。

「日滿一体の戦時体制案が出来たので満洲國五ヶ年計画は修正される事になつた。これに依り鉄・石炭・金の大増産を行なふことになつた」

三、この嚴密なる航行遮断の結果商友各地どこに物資の不足着しく困却、疲労到らざる無しといふ有様でこれを起因として、支那の内面的抗争が惹起するのではないかとみられてゐる。

四、米の紛争回避の措置

五、武器弾薬輸送禁止は

六、米の府政の特徴

七、我對支態度表明

八、支那汽船影没の断行状況

九、我鐵道隊完成

十、在亞日本人会

十一、同胞各位

十二、御案内

り極めて注目されてゐる。

トに就ては財界人の多く集められた一つの機関を別に作るか或は一般の機関中に財界人を含めろかは今後人物

の配合に依り決定される、通常議會に増税案を出すか否かに關して未決定たが經濟力を圧迫しまく語つた。

近來日本中心論、強化説發

政策等による機会に於て各方面に論議研究の盛んになりつつある折柄、文等有志論員の意見の代表建議を一堂に会して聽取し、本会の發展策に貢献を行ふことは考へてゐるなり

せんとする

氣氛奮って御出席論議あら

正事五

六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

十一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

十二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

十三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

十四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

十五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

十六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

十七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

十八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

十九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

二十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

三十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

四十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

三十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

四十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

三十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

四十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

三十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

四十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

廿九、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

三十、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅一、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅二、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅三、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅四、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅五、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅六、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅七、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅八、尚ほ出席不可能の向は提案書御送附下されたし

卅九、尚ほ出席不可能の向は提案書御

建都百四十年紀念

花

は

櫻

木

美

都

は

武

市

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

世界宣傳戰

宣傳の力は兵器以上だ！

墓穴を掘る抗日宣傳

「戦はずして奴隸とあらよりを寧
ろ討死して護國の譽と化す」
何かこゝまで日支關係を燃焼せし
めたか。それは宣力の力だ、と云

本在支那の宣伝に頼りたからである。今爾が北支事変によつて、先づ全世界の人間が「勃發」のエスニック打撃をうけたのは、支那側の上海電報があつた。「ホー」と一度驚いてから東京電報が入つて行つたと云はれてゐる。

リだ。支那の抗日宣傳を書いたら、られた末切れ盡き合せたやう
キリが無い。まあさつと上人古調
まで一秀千里に効果をあげた。そ
の目的の最大あるものは蔣介石。
通信社の発表前に、日本との同盟、電

藏田書店

であるが、これが支那では巨戦略と書き變へられて、その戰略を称するものが、南京の公園にさきかしてあるといふから、全く呆れざる不得あり。

し、ニエーヨークタイムスまでが、日本
の積極行動であるから如く論じ
てゐるのは、一にソ聯の宣伝に乗
せられたからである。

將棋の駒 (三五。) 算盤

墓穴を掘る抗日宣傳 「戦はずして奴隸とあるよりと寧ろ討死して護國の鬼と化す」……何がこゝまで日支國係を燃焼せしめたか。それは宣力の力だ、と云へる。宣伝にもまりけり左が更宣伝は人を殺し、國を亡ぼす。夫那の抗日宣伝は遂に国を亡ぼすまでに巨大な力を發揮しつゝある。ではあいか。駄漢八百萬字を口に我が曰本の約二十倍に達する支那余土は今や「抗日」の一色に塗りつぶされた。マッチにも石鹼にも、鉛筆にも、タオルにも、謗まれる大字はたゞ「抗日救國」の四文字であるといふ。「札儀廢除」をスローガンとする蔣介石の新生活運動も蓋を開けて見ると「抗日」に外ぶらあいのだ。蔣政權統一のための民族意識高揚の宣伝は、即ち実は抗日宣伝であつてある。

国民党のG.P.、U藍衣社、それゝ別動隊、CC團を始めとして赤血鋤は、あると云はねば、先生かい、魚奸圓、鐵血救國團等々、從來の砲列監教い難るが、溝洲事變は何か故にあれだけの有りとらぬる國体が抗日宣伝の國際的不評判を買つたか? 曰めに支那軍と戦つた昨年末の事件

スは打たれたらば、夫那側の上海電報があつた。「木」と一度驚いてから東京電報が入つて行つたと云はれてゐる。

曰本が内閣に情報委員会を設置し、同盟通信社の誕生を見たりはやつと昨年のことであるが、夫那では既に一九三二年に藍衣社を組織し、中央通信社を設立し、国民党中央部に有する宣伝部を設置したのである。そこで宣伝部の大將は上海の民国日報社長を振り出でて、甘肅省の主席までやつてゐる邵力子、彼は蔣介石の有力あるアーチン・トラストの重要なるメンバである。否、蔣の片腕といつてもいい傑物なのである。

「台湾はどうもののか?」と何はれた小学生は「中國のもの」と答へ、旅順、大連は勿論奉天省にあると云はねば、先生かい、魚

エラジカルアラ、悠カ壳国奴味ハナリタ
リタ。支那カ抗日宣伝を書いたたら
キリが無い。まろざつと上人を説
矣。一海千里に効果をあげた。そ
の目的の最大であるのは蒋介石有
統一にあつたんだが、角を矯めて
牛を殺すの例へどもで行なつて今
や支那抗日宣伝は却へて国を亡ぼ
すまでにあらんこじでゐる。

「藍報」が激甚の怪事なく、一切
られた木口切れ臺子を合せたうえ、
ある。わざと承知しない。通報の
八將星鉄款事件についても、タス
通信社の発表前に、日本の同盟電
報が轟き立したといふのは、「S H
H F Y O」(終了)の僅か六字のロ
ーマ字が書うじて、ニエース統制
の網を抜けて打ち出された鳥めで
あつたといふ押詰も伝へられてゐ
る。